



温かな冬晴れとなった親里。春季大祭に帰り集った人々は、真柱様のお言葉を胸に治め、さらなる成人を誓った（1月26日、本部中庭で）

陽気ぐらしの手本を土地所に

立教180年春季大祭

教祖が^{うっし}現身をかくされた明治20年陰暦正月二十六日に由来する、立教180年「春季大祭」が1月26日、奈良県天理市の天理教教会本部で執り行われた。教祖130年祭の執行から丸1年を迎えたこの日、約6万5千人の信者が神苑を埋め尽くした。おつとめの後、神殿講話に立たれた真柱様は、教会の役割を説いたうえで、陽気ぐらしの手本を土地所に示そうと呼びかけられた。

